

入院診療計画書

患者氏名 様
 病名 低出生体重児（出生体重が1500g～2499g）

経過 日時	入院時 入院当日	入院後の経過 生後1週間	退院 1週間以降
入院から退院までの経過について	小さくまれた赤ちゃんは、胎外環境に適応するのに時間を要することがありますので入院管理となります。	生理的体重減少が落ち着き、体重増加に転じる時期。体温や呼吸が安定し、哺乳ができるようになれば経過良好と判断できます。	状態が安定したと判断され、体重増加がみられれば、退院となります。
治療	（長期間点滴が必要な場合は、中心静脈を確保することがあります。） 赤ちゃんの体重や状態により、保育器に収容したり、十分な哺乳ができるまでは経管栄養や点滴を併用することがあります。状態がよければ、経過観察のみになります。		
処置	赤ちゃんの症状を考慮して適宜対応させていただきます。		
検査	血液検査、超音波やレントゲンなどの画像検査、細菌・ウイルス検査などを経過や症状を考慮して行います。早産児の場合は目の検査も行います		
安静度	コット（赤ちゃん用のベッド）または保育器で管理します。		
食事	状態により、母乳やミルクを適量与えます。経腸栄養が十分に行えない場合は、点滴を行います。		
清潔	状態により、沐浴または清拭等に対応します。		
排泄	赤ちゃんに不快な思いをさせないように注意して、適宜おむつ換えを行います。		
患者さん及び家族への説明	入院中、必要に応じてお話をさせていただきます。（「検査や手術などの前後」、「病状の経過」、「今後の方向性」等）		
患者様および、ご家族のご要望			
特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無（どちらかにチェック）		

主治医： 印

担当看護師：

本人 ・
 家族

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって、変わり得るものです。

注2 入院期間については現時点で予想されるものです。